

ダイワ・ブラジル株式オープン -リオの風- 運用状況と今後の見通しについて

2023年4月28日

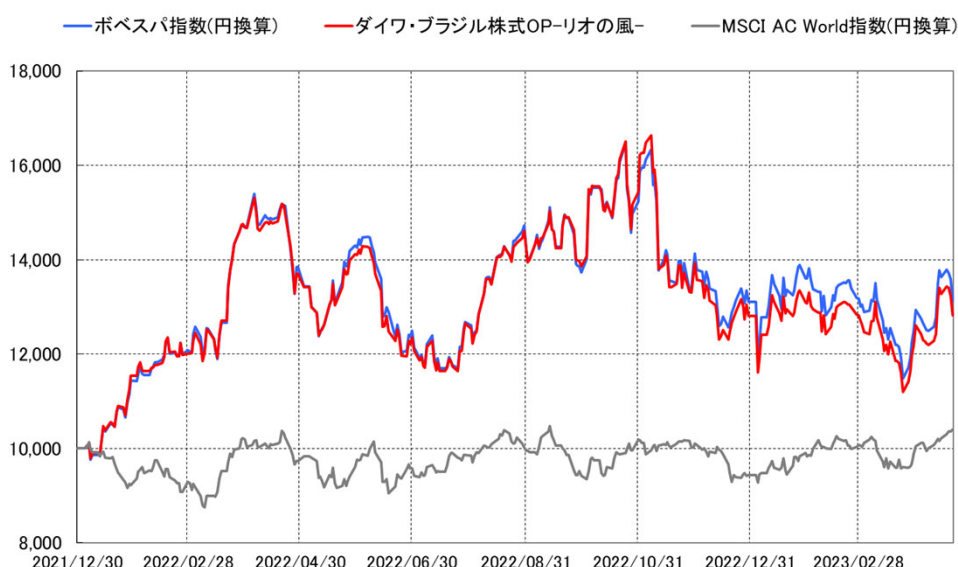
お伝えしたいポイント

- 2021年末以降、主要各国の株価指数と比較して相対的に良好なパフォーマンス
- 今年第4四半期の利下げを予想。経済状況の優位性はブラジル株式のプラス材料

2021年末以降、主要各国の株価指数と比較して相対的に良好なパフォーマンス

2021年末以降の基準価額、指数の推移

期間：2021/12/30~2023/4/20



出所：大和アセットマネジメント、Bloomberg
※期初時点を10,000として指数化

※ボベスパ指数（円換算）、MSCI AC World指数（円換算）は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。
※ 当ファンドのパフォーマンスは分配金再投資基準価額ベースです。
※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※ 基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

投資環境

ブラジル株式市場は2021年末から足元の2023年4月19日(現地)にかけて、小幅な下落となりました。

2021年末から2022年11月上旬にかけては、エネルギー株などが好調だったことや、ブラジル中央銀行がインフレ率の低下を受けて利上げサイクルの終了を示唆したことなどを背景に上昇しました。10月の大統領選挙が近づくにつれ、ルラ氏、ボルソナロ氏両候補の支持率がきつ抗し、今後の政策に対する不透明感が強まったことから不安定な値動きになったものの、ルラ氏の当選が決まると市場は選挙結果を好意的に受けとめ、上昇しました。

11月中旬以降は、ルラ氏が財政規律やブラジル中銀の独立性を軽視する発言を行ったことや、財政政策の不透明感などを受けてインフレ期待が上昇し、中銀が早期の利下げに消極的な姿勢を示したことから、ブラジル株式市場への下落圧力が強まる展開になりました。

足元では、新たな財政枠組みに関する法案が発表され、その内容が市場に好感されたほか、インフレ率が市場予想を下回り利下げ期待が強まったことから、ブラジル株式市場は下落幅を縮小しています。

ブラジル・リアルについては、ブラジル中銀が2022年8月まで段階的に利上げを実施する一方で、日銀は緩和的な金融政策を続けたため、リアルは円に対して上昇しました。

円ベースのブラジル株のパフォーマンスは同期間において上昇しており、主要各国の株価指数と比較して相対的に良好なパフォーマンスとなっています。

今年第4四半期の利下げを予想。経済状況の優位性はブラジル株式のプラス材料

■ 今後の市場見通し

ブラジル財政政策の不透明感や、金融政策をめぐり、高金利政策の批判を続けるルラ大統領と、早期の利下げ開始に消極的な姿勢を示すブラジル中銀との間の対立が懸念されていることは、ブラジル株式にとってマイナス材料です。

財政政策については、足元で新たな財政枠組みに関する法案が決定され、市場に好感される内容であったことから、財政リスクは和らいでいます。法案が議会を通過するかどうかは今後の注目点ですが、ハダジ財務相は事前にリラ下院議長などとすり合わせを行っており、根本的な変更が施されることなく、議会を通過すると予想しています。

金融政策については、財政枠組みに関する法案の発表を受けてネット中銀総裁が、債務状況が好ましくない方向に進むリスクを低下させたと発言したことや、足元でインフレ率が下振れを示していることから、市場では利下げ期待が強まっています。我々も足元の状況を受け、今年の第4四半期に中銀は利下げを実施すると予想しています。

ブラジルは、インフレを抑制するために先んじて利上げを実施し、高金利政策を敷いたことで、いち早く利上げサイクルを停止する処まで至りました。インフレを抑制すべく、未だに利上げを継続せざるを得ない米国などの世界主要各国と比べ、インフレ、金融政策をめぐる経済状況の優位性はブラジル株式のプラス材料です。

また、ブラジルは中国向け輸出の比率が高く、中国経済再開の恩恵を受けます。そのため、海外投資家のブラジル株式への注目は高まっており、海外投資家の資金流入が期待できることも支援材料です。バリュエーションがヒストリカル平均より低く、割安になっていることもブラジル株式を下支えすると考えます。

ブラジル・リアルについても、海外投資家のブラジル株式投資を通じて資金流入が見込めることや、インフレ率の低下による実質政策金利の上昇が見込めることから、今後堅調に推移するとみています。

■ 運用方針

引き続き、財政の状況や政治、経済の動向を注視しつつ、バリュエーションや成長性等を総合的に勘案し銘柄選別を行います。財政規律などの不透明要素も大きいことから、全体としてはバランスのとれたポートフォリオを維持しつつ、個別銘柄を慎重に選別しながら投資を行う方針です。

設定来の基準価額推移

期間：2009/11/25~2023/4/20



出所：大和アセットマネジメント
 ※期初時点を10,000として指数化

- ※ 当ファンドのパフォーマンスは分配金再投資基準価額ベースです。
- ※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※ 基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
- ※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

■ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- ブラジルの株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. ブラジルの株式^(注)に投資します。

(注)「株式」…DR(預託証券)を含みます。

◆ブラジル株式市場の主要銘柄については、DRが多数発行されています。当ファンドではDRにも投資を行なうため、ブラジル・リアル以外の通貨建資産を組入れますが、DRの価格はブラジル・リアルの為替を反映したものととなります。

●経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。

2. ブラジルの株式の運用は、イタウ・アセット・マネジメントの助言を受け、ダイワ・アセット・マネジメント(アメリカ)リミテッドが行ないます。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

■ 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク、税制に伴うリスク等)」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.848% (税抜 1.68%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※ブラジル国内株式投資に伴い、ブラジル・レアルを取得する為替取引に対しては金融取引税が課されます。なお、2022年11月末日現在、税率は0%です。ブラジルにおける当該関係法令等が改正された場合には、前記の取扱いが変更されることがあります。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

大和証券

Daiwa Securities

〈販売会社〉

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本STO協会

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。